

総合整備計画書

北海道 遠軽町 瀬戸瀬西町外5辺地
(辺地の人口 149人、面積 30.7km²)

1. 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町村又は字の名称
紋別郡遠軽町瀬戸瀬西町、瀬戸瀬東町、栄野、若咲内、野上、湯の里
- (2) 地域の中心の位置
紋別郡遠軽町瀬戸瀬西町30番地10
- (3) 辺地度点数
140点

2. 公共的施設の整備を必要とする事情

- ・ 道 路 ～
- 遠軽町の橋梁は1960年代に始まる高度経済成長期を中心として194橋が建設され、架設後50年を経過する橋梁が今後急増する。このため、令和3年度から令和4年度に194橋の橋梁点検を実施し、令和6年3月に「遠軽町橋梁長寿命化計画」の改定を行った。
- 点検した194橋の橋梁のうち、重要路線の橋梁、損傷が著しく緊急度の高い橋梁30橋を計画的に整備し、橋梁の長寿命化、また交通の安全確保を図る。
- 瀬戸瀬川向道路岩見橋長寿命化事業
橋長41.5m
- 栄野若松間道路第2号橋長寿命化事業
橋長6.7m
- ・ 観光・レクリエーション施設 ～
- 旭川とオホーツク圏を結ぶ旭川紋別自動車道の遠軽ICに隣接し、北海道で初めてスキー場を併設した道の駅遠軽森のオホーツクが令和元年12月にオープンし、これに併せてロックバレースキー場もリニューアルオープンした。
- 当スキー場は冬季のみならず、夏季にはジップラインやツリートレッキング、サマーゲレンデなど多彩なアクティビティが楽しめ、町の貴重な観光施設として重要な役割を果たしている。
- 当スキー場のリフトはサマーゲレンデにより夏季についても稼働しており、冬季間のスノーシーズンにおいても稼働していることから、累積使用時間の上限に達する状況である。今後も利用者に親しまれるスキー場を維持するにあたり、計画的なリフトの更新・改修を行い、安全・安心な輸送を確保する。

3. 公共的施設の整備計画 令和7年度から 令和11年度までの 5年間

(単位：千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業 債の予定額
			特定財源	一般財源	
道 路 (瀬戸瀬川向道路岩見橋長寿命化事業)	遠軽町	62,000	37,200	24,800	24,800
道 路 (栄野若松間道路第2号橋長寿命化事業)	遠軽町	48,000	28,800	19,200	19,200
観光・レクリエーション施設 (ロックバレースキー場整備事業)	遠軽町	32,755	0	32,755	32,700
合計		142,755	66,000	76,755	76,700